



森ボラ 通信

第87号 2009年8月20日発行
NPO法人北海道森林ボランティア協会
URL <http://www.geocities.jp/hokkaidoforest/>
札幌市中央区南2条西2丁目金市館ビル8F
Tel:241-8155 : Fax:241-8308
E-mail : hshinrinv2002@nifty.com

■ トピックス

◆ 支笏湖「北海道 CGC みどりところの森」機械地拵完了立会い 北海道 CGC(株)虎谷常務・谷口部長、那須川林業(株)伊藤氏、森ボラ酒井代表幹事

CGCの森17.8haの内、当協会が手作業にて地拵する2.3haを残して機械地拵え部分は作業が終了、8月11日立会い確認をしました。

●森ボラ協会で毎木調査した保存木は植栽列でも残されていました。(写真)

●30の小班に分けられ畝方向はそれぞれ異なった方向に向けられ、新しい試みとなりました。年度別樹種(N14種)別に多様な植栽配置が出来ます。

●10月1日の北海道CGCレジ袋基金参加企業の社長さんたちによる記念植樹200本は入り口右側測点42番付近としました。(記、酒井)



◆ 活動報告 7月7日幌南の森 参加者8名 小学4年生90名わかば2名 PTA3名



2009年度北海道応援基金の支援を受けています。

体験活動内容；森の豊かさに気づきながら幌南の森の全体像をとらえる。

●遊歩道草刈り

PTAと一緒に手鎌で道の草を刈った。

●ゲストティーチャ

15名ずつに分けて3組4名のゲストティーチャで森の遊歩道を案内した。

●枝切り

手鋸でニセアカシアなどの枝を切る体験をさせた。

●遊歩道整備

子供たちが帰ったあと笹刈り鎌で2本ナラまでの遊歩道の整備をした。

この活動は株式会社ニトリの助成にて頂いた手ノコギリ・カマ・ナタを使って実施されました。(記、酒井)

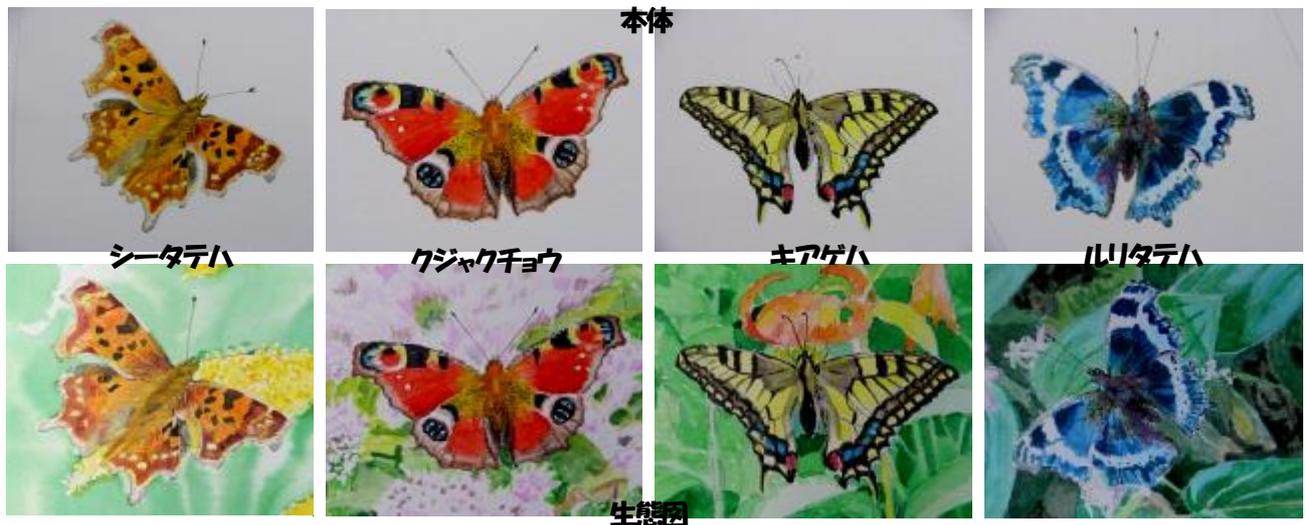


◆ 「北海道の蝶」トランプづくりにチャレンジ

森林ボランティアの活動から余技の水彩画のモチーフに野草の花とそれに誘われる蝶を幾つか描いた絵をこの春のNHK ギャラリーでの個展で展示したことは、ご覧いただいた方はご記憶かと思えます。これらの絵が「北海道の蝶」によるトランプづくりに展開しました。他ならぬ当別フクロウの森のオーナーの石島さんからの提案なので、気軽に引き受けてしまいました。

トランプはジョーカーを含めて 53 枚の札数です。53 種の蝶の生態画を描くについては大変なのですが、小学生時代にかの有名な手塚治虫さんの手作り昆虫図鑑ばりに、採集した昆虫達をスケッチして図鑑風にまとめていた経験から困難とは思いませんでした。ポピュラーな種類の幾つかの作品をご覧くださいませ。これに①和名②学名③吸蜜花や食草の和名を記入し、子供たちの教材としても活用できるようにする予定です。

完成の暁には当協会の収益販売品としてインターネットやロコミで販売してはいかがかと思えますので、幹事諸氏のご判断にお任せしたいと思います。(記、高野)

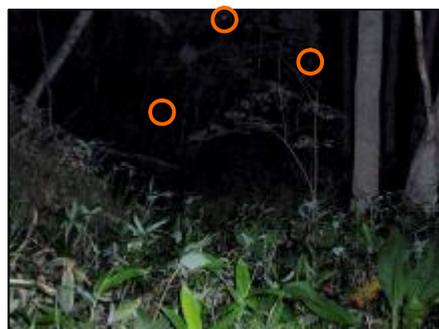


◆ 活動報告・(澄川・7月31日～8月1日)

恒例「ホタル鑑賞会」と「炭焼」を実施する

恒例となった「ホタルの夕べ」と「炭焼」のセット活動は今年も7月31日～8月1日の2日間実施された。特に、ホタルは餌となる「カワニナ」が減少して、生息が危惧されていたのですが今年も確認出来ました。普段、目に入る範囲でカワニナが確認されていたものが減少傾向にあり、アライグマの出没も取りざたされていて、心配していた女性会員もホタルの舞を確認して感激もひとしお。

同時に実施された除伐・間伐材の炭化作業も技術が向上？したのか見事な炭が出来上がった。野営をしながらの長時間作業であった。(記、事務局)



■ 今月の幹事会

出席者：市山・荻田・酒井・佐野・杉本・高野・津金・西野・山中・棟方・和田

CGC 事務局：矢澤

確認事項

1. お知らせ・確認事項

- ①9月活動計画が変更になっています、ご確認ください。
9月30日(水)～10月1日(木)の二日間、「北海道CGCの森」植樹祭(針葉樹200本)と看板の設置・除幕式を実施します。森ボラ会員の総力を挙げて対応したいと思います。
- ②10月9日(金)～10月10日(土)の2日間並びに10月13日(火)～10月14日(水)の2日間、合計4日間で、「北海道CGCの森」植樹(針葉樹2,700本・広葉樹1,200本)を実施します。いずれも、会員多数の参加を期待しています。宿泊には事前予約が必要となります、作業参加申込書に確実にチェックを入れてください。
又、10月1日は、「道新ぶんぶんの森」植樹祭(10/3)のマーキング作業を実施します。
- ③新入会者紹介
 - 小笠原宣男さん・北区篠路
 - 荒屋敷明夫さん・清田区平岡
 - 賛助会員 山田塗装株式会社札幌支店(厚別区厚別西2条4丁目8-1)
環境保全・教育にボランティアと協働参画します。
- ④活動で作業に使用した「用具の手入れがなされていない」との指摘がありました。今後、以下の対応をする事で用具を大切に使用する運動を展開します。
 - 作業終了後は用具の破損有無・刃物の研ぎ・清掃を必ず実施する。
必要に応じて作業を早めに切上げ、補修の時間を取って作業を終える態勢を確保する。
 - 協会備品を持ち出す場合、必ずノートに記載し(持出し・返却)、返却の有無を確認する。

■ おしらせ

◆ チェーンソー技術講習(2日間)募集



「森林ボランティアと創る石狩の豊かな里山モデル事業(石狩支庁)」が実施するチェーンソー技術講習が実施されます。(9月15(火)～9月16日(水)/2日間出席可能者・定員3名)希望者は事務局まで。

◆ CGCの森(支笏湖国有林)地拵え完了する

既に、7月例会で紹介した北海道CGC「みどりところの基金」で実施する国有林・支笏湖5456林班、台風被害復興事業は機械による地拵えが終了して、10月からの植栽に入ります。また、森ボラの手作業による地拵え(2ha)は8月20日に開始、9月中には完了する予定で取組みます。

今回の植栽は、多様性のある森づくりを狙いとした方法を試み、今後7年間、森ボラが中心になって育林に挑戦します。天然更新の針葉樹・広葉樹の稚樹やシラネアオイを保存しながら、植栽・育林を実施してゆきます。会員の多くの参画を期待しています。



活動履歴

活動日	行 事	参加人数	活動内容
8月11日(火)	支笏湖	1名	CGCの森地拵え完了検収立会
8月10日(月)	幹事会・大通ビール会	16名	有志によるビール会
8月5日(水)	澄川	15名	遊歩道整備・除伐
8月3日(月)	南幌町ヤナギ	8名	草刈
	野幌森林公園	2名	草刈
8月1日(土)	澄川	10名	ゴミ拾い・看板製作
7月31日(金)	澄川	18名	炭焼き・看板製作・ホテル鑑賞会
7月29日(水)	澄川	17名	木工・看板製作
7月27日(月)	支笏湖(復興の森・ぶんぶんの森)	11名	草刈・ぶんぶんの森活着調査
7月25日(土)	野幌森林公園	2名	草刈
7月23日(木)	りんご園	7名	摘果
7月22日(水)	りんご園	5名	摘果
7月21日(火)	りんご園	3名	摘果
7月20日(月)	りんご園	7名	摘果
7月18日(土)	りんご園	5名	摘果
	当別町青山	3名	草刈

ひとこま

◆ 活動報告 7月3日～4日

支笏湖「CGCの森」(参加者18名)

かねてから関係者間で協議・計画が進められてきた「北海道CGCの森」活動が第一歩を踏出しました。活動の概要は、2004年の台風で倒木被害にあった支笏湖周辺の国有林復興に参加するもので、当協会の作業エリアである17.82haに早期植栽を施し、以降、数年これらの生育に向けた育林作業を行うものです。活動地は小高い山の斜面から山裾にかけて約350m×500m程の範囲で、見渡すと倒木処理された跡地に雑草が生い茂り所々に倒木を免れた樹木が残っているとといった光景でした。今回の作業は、重機による地拵え前に活動地全域の実態を調査する目的で次のようなことを行いました。

残存木の調査: 胸高樹径9cm以上の樹木を対象に樹種、樹径、樹高を調べ記帳し、それぞれにマーキング、ナンバーリングを実施。ニレ、ミズナラ、カバなどを主に樹高10m～25mの木々が **19種類、約377本**残っていることを確認しました。

自生の稚樹・幼樹の概要把握: 山際の斜面沿いに、トドマツ、ホウ、カバ、イタヤカエデなどの木が育ち始めていました。かなりの本数があり、是非これらの自然樹を取込んだ森作りをしていこうとの意見が多く出されました。

シラネアオイ群落の仮囲い: 山頂に近い斜面にシラネアオイの群落があり、これらの保護が目的です。因みに名前の由来は、日光白根山に多く自生していることから名づけられたそうです。

定点観測位置の設定: 山頂近くで全域を見渡せる場所に観測地点を設定しました。この場所から定期的に、木々の成長状況や森の回復状況を観測することになります。

今回の活動は泊りがけで2日間、参加された皆さん大変お疲れ様でした。「CGCの森」では、腰から胸にかけて生い茂る雑草の中を分け入り、窪みに足をとられ、切り株に躓きながらのかなりハードな作業でしたが、めげずに進むこの逞しさが会を支えているのではと思ったものです。

(記、工藤光)

